

原料費調整制度に基づく2025年5月検針分のガス料金について

(群馬地区)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2025年5月検針分の単位料金を調整した結果、2025年4月検針分と比べ、1m³(45MJ)につき4.65円(消費税込)上方に調整いたします。

これにより、1ヵ月に36m³のガスをお使いになる標準家庭で2025年4月検針分と比較して、167円(消費税込)ガス料金が上がります。

2025年5月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

1ヵ月のご使用量	(消費税込)		
	料金表A 0～24m ³	料金表B 25～500m ³	料金表C 501m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/m ³)	179.74	158.19	145.57
(参考) 4月 調整単位料金	175.09	153.54	140.92

2. 標準家庭における影響

1ヵ月のご使用量 36m ³ (45MJ/m ³) 適用料金(円/月)	(消費税込)		
	2025年 4月 *1	2025年 5月	増減
	6,823	6,990	167

・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。

*1 経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、5円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2024年11月～2025年1月 の平均 (4月 検針分)	2024年12月～2025年2月 の平均 (5月 検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	93,220	92,800	▲ 420
LNG	97,030	96,530	▲ 500
LPG	96,240	97,080	840
基準平均原料価格(b)	54,870		
差額(a-b)	38,300	37,900	▲ 400

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

LNG平均原料価格(貿易統計値) = 96,530 × 0.9206
+ LPG平均原料価格(貿易統計値) = 97,080 × 0.0405

= 92,797.25
↓ (10円未満四捨五入)
92,800 円/t

■ 原料価格変動額の算定

92,800 円/t - 54,870 円/t = 37,930 円/t
↓ (100円未満切捨て)
37,900 円/t

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

単位料金調整額 = 37,900 円 / 100円 × 0.0858^{*2}
= 32.51 円^{*3}

*2 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*3 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

5. 標準家庭料金の算定方法

群馬地区
本体料金(税込) = 基本料金(1,296.10円)
+ 調整単位料金(125.68円) + 32.51 円 × 36m³
基準単位料金(税込) ↑ ↑ 単位料金調整額(税込)
= 6,990 円 ・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（54,870円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が149,570円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は149,570円としてガス料金の調整を行います。